

ニューズレター 経済教育学会

2010. No.12

新代表幹事挨拶・・・1 事務局の交替について・・・2 2010年度第26回全国大会報告募集要項・・・3 2010年度春季研究集会報告・・・4
経済教育学会拡大幹事会議事録・・・5 編集後記・・・6

新代表幹事に岩田年浩先生(関西大学)が選出されました。新代表幹事のご挨拶を掲載します。

新代表幹事挨拶

代表幹事 岩田年浩

昨年9月27日の学会幹事会で私が今年度の代表幹事を御引き受けしました。よろしく願い申し上げます。

景気の低迷する中で、経済教育に求められている課題は数多くあります。現代社会の示す不況の慢性化とさまざまな経済理論の関係をどのように説明するか。その中で、何より学生や生徒の人生に関わる問題に迫る必要があります。経済の何をどのようにどこまで教え学ぶかは人間社会にとって普遍的な課題と言えましょう。経済教育に対する潜在的なニーズは広く深いことに確信をもっていきましょう。



4年後には、当学会も創立30周年を迎えます。それぞれの時代を反映して研究教育のテーマの設定や学会運営の努力がなされてきました。積み上げられてきた成果の上に、現代に必要なこの学会の事業を発展させましょう。

なお、事務局は4月より外部委託が始まり、事務局担当幹事もベテランの長谷川伸さんから新進気鋭の水野英雄さんに代わりました。この期に必要な改革や会員の増加を進めていきましょう。当面する第26回全国大会が質量ともに充実するよう、会員の皆さんに注力をお願い致します。(関西大学)

《名簿作成をしています(住所の異動を含めてご連絡をお願いします)》

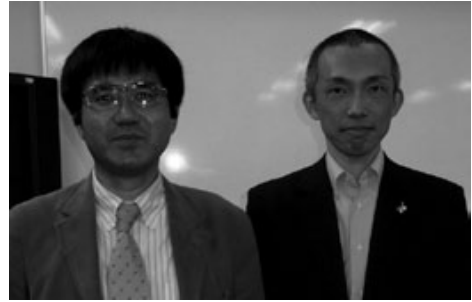
学会員名簿を2010年7月に発行するために準備を進めております。住所や所属先等に変更のある場合にはお早めに2ページの「特定非営利活動法人 CANPAN センター ACNet」までに郵便、ファックス、電子メール等の書面にてご連絡下さい。

尚、ご連絡頂けない場合には、学会に登録されている内容をそのまま掲載させていただきますので、ご了承下さい。

「特定非営利活動法人 CANPAN センター ACNet」は学会活動の支援のための団体です。

【学会事務の外部委託が始まりました。それに伴い事務局担当幹事が交替しました】

岩田代表幹事の挨拶でも触れられていましたように、学会事務は4月より外部委託が始まりました。また、事務局担当幹事もベテランの長谷川伸さんから新進気鋭の水野英雄さんに代わりました。長谷川先生、長い間、煩雑な学会事務を引き受けていただきありがとうございました。また、水野先生、これからご面倒をおかけすることになりますがよろしくお願いたします。



水野 英雄 幹事 長谷川 伸 幹事

外部委託により、会員情報の管理や学会誌・ニューズレターの発送等の学会業務を「**特定非営利活動法人 CANPAN センター ACNet**」へ委託しました。住所や所属先等の変更、入会申込、退会届は書面にて下記へご連絡下さい。

学会業務委託先（住所変更、入会申込、退会届は書面にてご連絡下さい。）

特定非営利活動法人 CANPAN センター ACNet

ホームページ <http://canpan.info/acnet/>

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-15-16 海洋船舶ビル 8階 TEL 03-5251-3967 10:00-17:00（土・日・祝を除く）

※電話では、入会申込、退会届、住所・所属・連絡先変更届は受け付けることができません。誤りを防ぐために郵便、ファックス、電子メール等の書面にてお届け頂けますよう、お願い致します。 FAX 03-3504-3909

電子メール ac070-jsee@canpan.org（学会事務局兼用）（これまでの jsee@e-mail.jp は使用できなくなります。）

（新）経済教育学会事務局

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1 愛知教育大学 水野英雄研究室 TEL・FAX 0566-26-2507（直通）

電子メール ac070-jsee@canpan.org（これまでの jsee@e-mail.jp は使用できなくなります。）

学会ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/ecoedu/>

《会費納入のお願い》

2010年2月に年会費の納入のご依頼をお送りさせて頂いております。郵便局（ゆうちょ銀行）にて下記の振替口座に年会費（学生等の条件により金額は異なります）をお振込み下さい。

口座番号：00920-3-252875

口座名義：経済教育学会

年会費	： 正会員	5,000 円
	学生会員（大学院生を含む）	2,000 円
	65歳以上の会員	2,500 円

（本人の申請により会費を半額とさせて頂いております。）

払込用紙の通信欄に「生年月日・年齢」をご記入下さい。）

経済教育学会は日本学術会議協力学術研究団体（詳細は <http://www.scj.go.jp/ja/info/dantai/index.html>）です。学会費は所属先の校費にてお支払い頂ける場合があります。

【第 26 回全国大会(2010年)自由論題報告募集！！】

実行委員長 中谷武雄（京都橘大学）

経済教育学会第 26 回大会を、2010 年 9 月 25 日（土）－26 日（日）の両日に、京都橘大学（<http://www.tachibana-u.ac.jp/>）で開催させていただくことになりました。全体テーマを「今日の経済をどう学ぶか」（仮）とし、25 日（午後）は全体会で、「今日の経済状況の下で働く意味・意義をどう捉えるか」（仮）という基調講演とシンポジウムを予定しております。シンポジウムは、中学生、高校生、大学生の教育実践例の発表を考え、働く目的と喜びが薄れてきている現状を、いかに変えていくかという課題を、市民も交えた社会的な観点から話し合いたいと考えています。

今日の経済状況の下で、雇用不安、失業、リストラ、さらには就職が決まらない卒業生や無業者が多数出ています。そのような状況下で、実践的な能力を持った若者を育てることとともに、自分の将来を見据えて、目的意識を持って学習し、準備をし、実力を付けて社会に出ていく若者を育てることが要請されています。若者の働きやすい環境をどのように作り上げていくかは、今や重要な社会的な課題であるといえましょう。

こうした問題意識を下にした全体会・シンポジウムを受けて、26 日は午前、午後の各々で、3 人ずつの自由論題報告を、3 会場で実施する予定です。合計で 18 本の報告を募集しますので、奮ってご応募下さい。

今回から大会関係の事務処理が、CANPAN ACNet に委託されました。学会報告の申し込みは、報告テーマと報告概要（300 字程度）、必要事項を経済教育学会のホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/ecoedu/> から入力して頂きます。次回幹事会は、6 月 19 日（土）午後、キャンパスプラザ京都で開催され、そこで報告の諾否が決定され、6 月末には電子メールにてご返事を差し上げることとなります。

また、第 26 回全国大会のお世話は、京都橘大学現代ビジネス学部：中谷武雄が担当させていただきます。この件に関しましては、中谷までお問い合わせ下さい。

連絡先：〒607-8175 京都市山科区大宅山田町 34 京都橘大学現代ビジネス学部 中谷武雄研究室内
経済教育学会第 26 回全国大会実行委員会（nakatani@tachibana-u.ac.jp）

＜第 26 回全国大会自由論題報告応募様式＞ 締切：6 月 15 日（火）までにお送り下さい。（必着）

応募方法：経済教育学会のホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/ecoedu/> から下記の必要事項を必ず入力してください。

〔入力必要事項〕報告者氏名・所属（複数の場合は全員）、連絡先（代表者のみ、郵便番号、住所、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレス、携帯電話等の緊急連絡先）、報告テーマ、報告要旨（300 字程度）

＜お願い＞

学会業務の効率化のためにホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/ecoedu/> からの申し込みとさせて頂いております。電子メールやファックス、郵送も受付ますが、可能な限りホームページの利用にご協力頂けますよう、よろしくお願い致します。電子メール、郵送、Fax の場合には、上記の必要事項をご記入の上（任意の様式で結構です）、2 ページの委託先（**特定非営利活動法人 CANPAN センター ACNet**）に送付をお願いします。

締切：6 月 15 日（火）までにお送り下さい。（必着）

報告の諾否：幹事会（6 月 19 日）を経て、原則として 6 月末までに電子メールにてご連絡します。

<ご注意>

本学会で学会報告を希望される場合には、年会費を納入して下さい。新規入会される場合には、報告申込時に年会費 5000 円を納入して下さい。

【2010 年春季研究集会報告】

2010 年の経済教育学会「春季研究集会」および「拡大幹事会」は、3 月 26 日(金)早稲田大学にて開催されました。春季研究集会の参加者は 21 名、プログラムは以下のとおりでした。

日時 : 2010 年 3 月 26 日(金) 14 時～17 時

場所 : 早稲田大学大学院アジア太平洋研究所

19 号館 7 階 713 会議室

プログラム :

13:30～ 受付開始

14:00～14:05 開会挨拶 (岩田年浩 代表幹事)

14:05～14:45 報告 1 「米国発の経済危機の何をどう教えたか: 2009 年度のアメリカ経済論の実践から」

藤岡惇 (立命館大学経済学部)

14:45～15:25 報告 2 「リカード比較生産費説『貿易利益』のミクロ経済学による検証」

菅原晃 (北海道江別高等学校)

15:25～15:35 休憩

15:35～16:15 報告 3 『固定資本減耗』理解の重要性について」 小柳津英知 (富山大学経済学部)

16:15～16:55 報告 4 「ラベルワークの実践と経済教育への可能性」 小林将 (日本教育大学院大学)

16:55～17:00 閉会挨拶 (山岡道男 集会担当幹事)

17:00 閉会

なお、タイトルに変更がありました関係で、事前の予定とは異なっています。

まず、岩田代表幹事より、様々な角度から経済教育に接近し、経済教育に役立てていこうと挨拶があった。

次に、藤岡会員による報告 1 は、「エコ・社会経済学」の挑戦として、ご自身の科目「アメリカ経済論」での授業実践であった。システムの「つながり」を取り戻す時代がきていることや、学生が授業に参画する必要性、危険を予想し、志の高い人となるように学生を指導していることが示された。

藤岡会員は、学生に「イノチと自分の位置関係」を考えさせ、モノやイノチ、人間社会のとらえ方を図解し、4 つの経済学のビッグマップが描けることや、スターリンはなぜ失敗し、アメリカ資本主義はなぜ勝ったのかを、自然も含めトータルな制度理解があつてこそ、現在の資本主義が理解できると説明された。

授業の方法としては、約 600 名の履修者に対して、Web サイト上で合計 27 問ものレポートを書かせ、締め切り時期や、一部分、肉筆を入れるなどの対策をしながら、約 450 名が単位を取得したと説明があつた。

会場からは、レポート提出に関する質問や、社会についての図解に関する質問、エコと原子力の関係の質問等がでたが、報告者のエコと社会経済にはさまれた時代の生き方として、複眼的に、システムの考え、行動することが重要であるという主張とともに、戦争や暴力といった手段がすでに時代になじまないとの認識がだされた。

菅原会員の報告 2 は、高等学校の「政治・経済」において、リカードの比較生産費説を教育する時の問題点をまとめたものであつた。高等学校の代表的教科書を俯瞰すると、最終的に生徒が、「生産量が増えた」「先進国は工業、発展途上国は農業に特化」などと短絡的な知識の定着となる可能性が示された。「ゼロサム・ゲーム」と言い切る教科書もある中で、菅原会員は丁寧な説明を行い、両国における貿易の利点を明確に示し、自由な交換により、豊かな生活が得られることを生徒に教えていることや、生徒が比較優位の理論の美しさに驚嘆したという事例も紹介された。会場からは、教科書の執筆陣もいたこともあり、活発な討論がなされ、生徒が短絡的な理解に陥る危険性には、会員たちからも賛同があり、余剰分析や機会費用の教育の重要性も意見として出された。

小柳津会員の報告 3 は、固定資本減耗の理解の重要性であつた。減価償却を理解していない学生が、SNA (国民経済計算) の固定資本減耗を理解しようとする時、三

面等価の所得面での取り扱いで混乱した事例をあげた。この事例から、固定資本減耗の定義や、入門テキストでの固定資本減耗の記述例を調べると、陳腐化の概念と、減価償却費の捉え方の説明が不足していることが見いだされた。最終的には、減価償却の非現金支出の意味と、陳腐化の意味、固定資本減耗の計算の困難などを、学生にしっかりと説明する必要があると指摘された。

会場からは、「学生は費用として出ていくものでないからわかりにくいのでは」「将来の買い替え費用を計上していることになるが、それ自体にも問題がある」「陳腐化の計算根拠となる統計データの問題」などの意見がでたが、一方で、自動車を例にした説明方法や、会計を学んだ学生なら定額法や定率法の説明のアプローチがわかりやすいのではと、説明の工夫をしようとする意見も出た。

小林会員の報告4は、会員自身が大学院生として指導を受けた「ラベルワーク」の教育方法の事例紹介であった。3枚複写式のラベルを用いて、グループ化や関係を示しながら、ラベル新聞を作成することや、授業計画書

の作成、Xpert という e-ラーニングソフトの活用例が報告された。

会場からは、山形大学FDシンポジウムでの発表に関する質問や、参画教育の全体像の質問が出たほか、ラベルワークの利点として、学生が自分で考える方向に向かうことや、概念を構造化できること、システム化が可能なことから医療での患者参画の例などがあげられた。本格的な学会では初めての発表ということであったが、小林会員のさらなる発展と活躍を期待した諸会員のアドバイスがあった。

最後に閉会の挨拶として、山岡幹事から、理論的・実践的内容の発表を聞き、大変、勉強になったことと、充実した1日になったことを発表者に感謝申し上げ、閉会となった。

(田中淳 東京都立産業技術高等専門学校)

【2010年春季経済教育学会拡大幹事会議事録(ニューズレター版)】

日時：2010年3月26日(金) 午前10時～午後1時

場所：早稲田大学早稲田キャンパス19号館7階713会議室

出席者(敬称略)：岩田年浩、浅野忠克、新井明、荒木一彰、栗原久、越田年彦、田中淳、中谷武雄、新里泰孝、橋本勝、長谷川伸、長谷川義和、藤岡惇、増田和夫、水野英雄、あんびるえつこ、山岡道男、

(以下は春季研究集会のみ参加) 伊藤薫、遠藤昌雄、小林将、菅原晃、箕輪京四郎、龍世祥

(1) 学会事務のACNet委託の件

ACNetによる説明が行われた。主な留意点は、次の通り。

①会費の入金に関しては、郵便為替の入金通知の送付先をACNetに変更することで情報の共有をはかる、②学会誌・ニューズレター等の各種発送は、大きさ・厚さの制限があるが5回までの料金が含まれている、③大会当日の運営への人員派遣は法律上できない、④発送物の封筒は学会で実物を用意する、⑤学会誌の編集にはタッチできないが、原稿のとりまとめや査読結果の連絡等は可能、⑥印刷業者を

変更する際には業者を選定の手伝いが可能、⑦WEB管理はニーズに応じて対応。制作費50万円程度までのHPの制作は無料。リニューアル、機能追加等はおおむね対応可能、⑧ACNet側は担当チーフ、メンバー各一人の2人体制で担当する。

<事務局に残る仕事>

- ・現金出納、事務局経費、通帳の管理
- ・バックナンバーの管理、発送(委託済み)
- ・大会費、学会誌の印刷経費等の管理
- ・ACNetとの窓口
- ・文章作成
- ・ブログのような簡単な形でのHP更新

(2) 第26回全国大会の件

京都橋大学現代ビジネス学部 中谷先生より経過説明。

①日程は9月25日(土)・26日(日)

②大会テーマは「今日の経済をどのように学ぶか」

といった内容を軸に調整。シンポジストには教育実践のブログがほしい、基調講演・シンポジウムともに大会テーマで

行うべきである等の意見が出された。実行委員会で協議していただき、メーリングリストで引き続き検討していく。

(3) 学会誌の件

①学会誌に掲載した論文をリポジトリにのせる場合の規定について条文を作り、案を総会にかける

②発行を出版社にするかどうかについての検討を継続する

(4) ニュースレター報告

次号(第12号)は、4月30日ごろを発行予定とし、松本朗幹事が編集を行い、従来通り①研究集会の報告、②本幹事会の報告、③大会概要および報告者募集、④会員動向、⑤学会名簿の発行予告、変更等の受付告知、⑥新しい幹事紹介等を内容とする。

なお、7月中旬発行予定の次々号(第13号)の編集についてはあんびるえつこ幹事が行う。

(5) 会員名簿の件

会員名簿を発行し、7月中旬発行予定のニュースレター(第13号)発送時に同封する

(6) 事務局担当幹事の選出

長谷川伸事務局担当幹事の海外研修に伴い、新事務局担当幹事に水野英雄幹事(愛知教育大学)を選出。補佐を荒木一彰幹事にする。

(7) 学会改革の件

引き続き宇佐見義尚幹事を中心に検討。夏の幹事会で提案、総会にはかる。

(8) 第27全国大会の件

東日本で(9月~10月初旬)開催を確認
山岡道男幹事を中心に候補校を打診する

(9) そのほか

- ・第25全国大会の決算報告は、メーリングリストで承認を得る
- ・会計年度を4月からにすることを検討。
- ・次回幹事会は、6月19日(土) キャンパスプラザ京都にて開催予定

(あんびるえつこ)

《編集後記》

ニュースレター12号をお届けします。私事の事情により編集作業が遅れましたこと、お詫び申し上げます。今号では事務局担当幹事の交替や事務局の外部委託など大きな話題が掲載されています。また、名簿の作成についてもアナウンスされています。是非熟読され、今後の学会活動にお役立てください。

(松本)

経済教育学会 ニュースレター 第12号

2010年4月30日発行

発行人 経済教育学会代表幹事 岩田年浩

編集人 松本朗

発行所 〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1

愛知教育大学 水野英雄研究室

TEL・FAX 0566-26-2507(直通)

発送元 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル8階

特定非営利活動法人 CANPAN センター ACNet

TEL 03-5251-3967 FAX 03-3504-3909

電子メール ac070-jsee@canpan.org

学会費送金先 ゆうちょ銀行 振替口座番号 00920-3-252875

印刷所 西濃印刷株式会社

